

研修管理委員長から



研修管理委員長
安藤真一(副院長)

当院で初期臨床研修医を受け入れるようになり1年3ヶ月が過ぎました。この間、合計5人の初期研修医(うち2人はたすきがけ)が研修を行っています。当院は、ベッド数260床、上近医指数40名と比較的小規模ではありますが、福岡市と久留米市の中の住宅地に立つ地域の救急病院として年間およそ3000台の救急車を受け入れて加療を行っています。救急系の患者は多いため、一人一人に当たる救急患者数は年間かなりの数にのぼります。

初期研修医の募集定員を2名に限定したのは、可能な限り十分な教育・生活支援を行いたいとの思いからでした。少数研修のため、研修医一人一人の意向に合ったスケジュールとすることが可能で、年間計画も必要に応じてマイナーチェンジを行いつつ進めています。現在、研修制度が少しずつ変化しており、研修内容の自由度が増大しているような状況です。このような変化が多い時代でも、少数での研修システムであるため、柔軟に対応ができるものと思っています。

一方、研修医を受ける上級医の医師も教育には熱心で、日頃の指導とは別にオリエンテーションなどが終わった5月から10月までは週2回朝8時から、各科の医師によるワンポイントレクチャーを行っており、これは研修医向けではあるものの、研修医のみならず、事務系・看護系職員も参加するような勉強会となっています。その他さまざまな勉強の機会があり、希望があれば自由に参加ができます。

このような病院で研修を行いたいと考える方は質問・見学を大歓迎しますので、遠慮なく連絡してください。